

遠隔授業 ガイドブック

— 概要と注意 —

- P1. 遠隔授業の種類
- P3. 遠隔授業の選択
- P4. 遠隔授業の注意点
- P5. 遠隔授業ツールの紹介

中京大学
教育推進センター

2022年4月1日

遠隔授業の種類

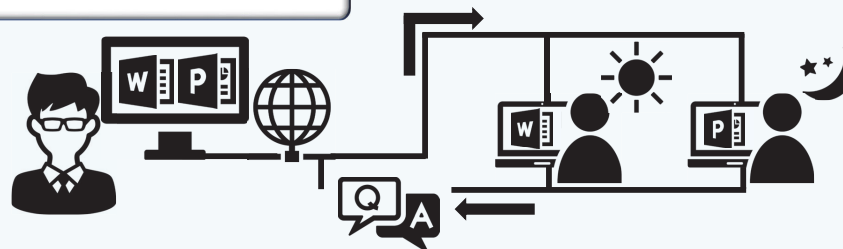
遠隔授業の形式や組み合わせは大きく5種類です。

リアルタイム型



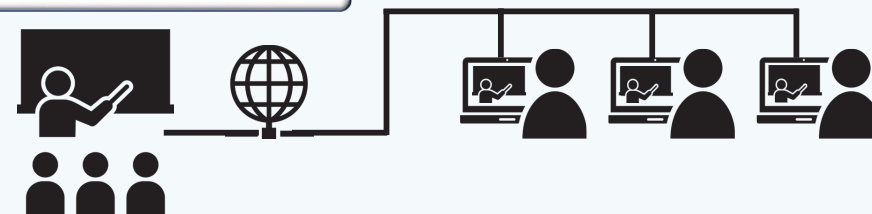
オンライン会議システムなどで教員と学生が同時にインターネットにアクセスし、リアルタイムで授業を行う形式

オンデマンド型



即時的な設問回答、質疑応答を前提として講義資料等の教材と学習方法についてオンライン上で提示し学生が各自で学習を進める形式

ハイフレックス型



同じ授業を教室でもリアルタイムのオンラインでも受講できる形式

遠隔授業の種類

ハイブリッド型

Day.1



Day.2



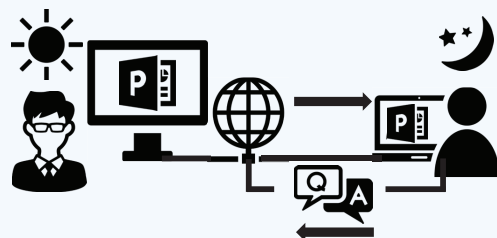
授業回によって面接授業と遠隔授業を使い分ける形式
※単位の集計時、面接授業と遠隔授業のどちらとして扱うかは、その授業の過半数を占めるものとしています

併用型

Day.1



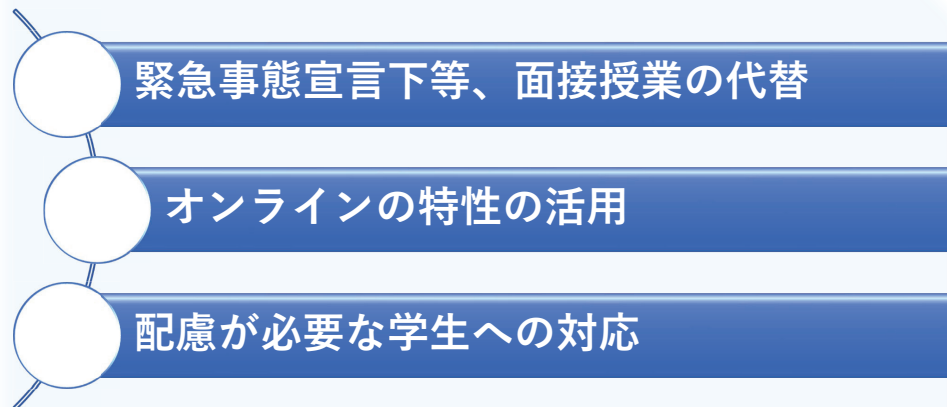
Day.2



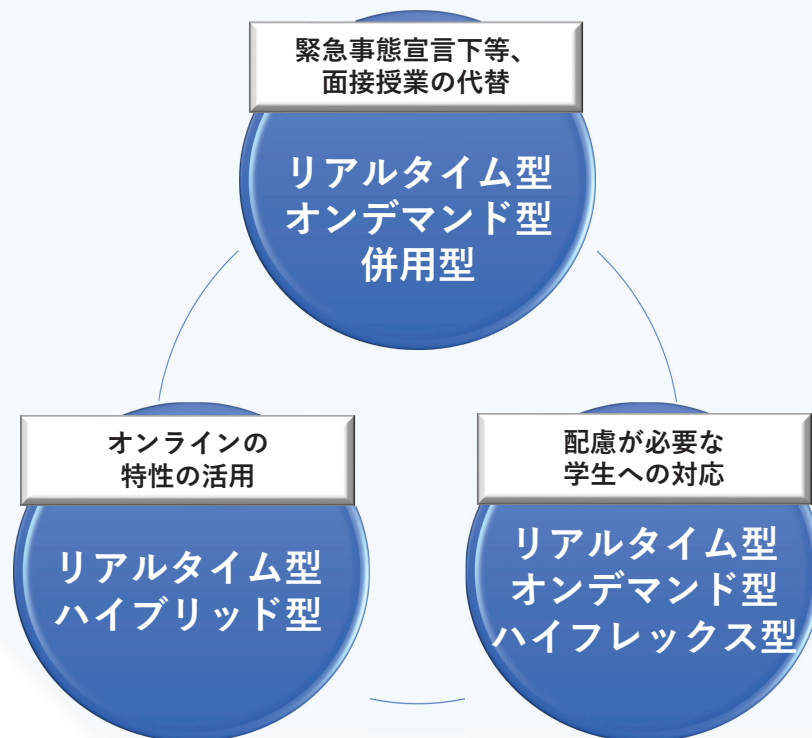
全ての授業回を遠隔で行い、その回によってリアルタイム型とオンデマンド型を使い分ける形式

遠隔授業の選択

遠隔授業の実施では、主に3つの状況が考えられます。



下の図は、状況に応じた遠隔授業区分のサンプルです。実際には科目の特性等を加味して検討してください。



遠隔授業の注意点

授業実施方法は
シラバスに明記してください。

※詳細は「シラバス入稿のお願い」を参照ください

面接授業を予定していた授業の一部を遠隔に変更する場合、次の事項に留意ください。

各授業の指導計画（シラバス等）の下に実施されていること

オンライン上での出席管理や確認的な課題の提出などにより、当該授業の実施状況を十分把握していること

学生一人一人へ確実に情報を伝達する手段や、学生からの相談に応じる体制が確保されていること

※文部科学省大学振興課事務連絡抜粋

遠隔授業を実施する場合、
単なる教材の配信のみでは授業としての要件を満たしません。

原則面接としている授業の一部を遠隔で実施する場合、
遠隔授業の合計時間を全体の半分未満にしてください。
(例：15回の授業であれば最大7回まで)

遠隔授業ツールの紹介

遠隔授業で活用されているツールの一部を紹介します。
各ツールの説明は次ページを参照ください。

リアルタイム配信ツール

Zoom

Google meet

Microsoft Teams

チャットツール

MaNaBo

Google Chat

Microsoft teams

Slido

オンデマンド配信ツール

MaNaBo

Google Drive

Google classroom

Microsoft Teams

その他ツール

m.mail

MANDARA

※本学契約外のツールはセキュリティ等に留意し、個人の責任でご利用ください。

遠隔授業で活用できるツールの紹介

MaNaBo

中京大学の教育支援システムです。教材の共有や課題の提出、出席管理など、リアルタイムの配信以外の、遠隔授業に必要な機能が備わっています。

- ・ MaNaBo活用ガイド

https://www.chukyo-u.ac.jp/on_campus2/pdf/staff/2022/educate-s26.pdf

Zoom

リアルタイムに授業を配信するためのオンライン会議ツールです。本学では有料ライセンスが割り当てられています。

- ・ 本学での取扱いについて

https://www.chukyo-u.ac.jp/on_campus2/pdf/staff/2022/educate-s24.pdf

- ・ ブレイクアウトルームについて※外部サイト

<https://symphonict.nesic.co.jp/workingstyle/zoom/breakoutroom/>

Google Meet

リアルタイムに授業を配信するためのオンライン会議ツールです。本学では100人以上または60分以上の利用の必要がある場合、申請式で有料ライセンスを利用できます。

- ・ 本学での取扱いについて

https://www.chukyo-u.ac.jp/on_campus2/pdf/staff/2022/educate-s23.pdf

- ・ 公式ヘルプ・サポート※外部サイト

<https://support.google.com/meet#topic=7306097>

Microsoft Teams

リアルタイムに授業を配信するためのオンライン会議ツールです。本学ではOffice 365アカウントで利用できます。

- ・ 本学での取扱いについて

https://www.chukyo-u.ac.jp/on_campus2/pdf/staff/2022/educate-s25.pdf

- ・ 公式ヘルプ・サポート※外部サイト

<https://blogs.windows.com/japan/2020/03/09/teamsguide/>

遠隔授業で活用できるツールの紹介

Google classroom

Googleが提供する遠隔授業ツールです。学生の管理のほか、Forms（アンケート）やMeet（オンライン会議）などと連携もできます。

Google Drive

Google上で資料を共有する事ができます。また、学生にダウンロードをさせずに閲覧だけをさせることも可能です。

- ・ 公式ヘルプ※外部サイト

<https://support.google.com/drive/answer/2424384?hl=ja&co=GENIE.Platform%3DDesktop>

m.mail

本学の学生全員に与えられるメールアドレスのため、学生への連絡手段のひとつとして利用できます。操作はGmailと同じです。

- ・ マニュアル

https://www.chukyo-u.ac.jp/student-staff/it/pdf/m-mail_manual.pdf

Google chat

m.mailのアカウントを利用したチャット（旧ハングアウト）です。学生のグループを作ることも可能です。

- ・ 公式ヘルプ※外部サイト

<https://support.google.com/chat/#topic=7649316>

Slido

Q&Aと投票ができる掲示板ツールです。URLによる招待制、匿名（氏名の入力自由）という特徴があります。有料ですが、一部機能が制限された無料版も利用できます。

・公式サイト※外部サイト

<https://symphonict.nesic.co.jp/slido/slido-2/>

MANDARA

地域統計データを地図化できる無料ソフトです。社会科学系の授業のみならず、自己紹介などと併せてアイスブレイクにも利用できます。

・公式サイト※外部サイト

<https://ktgis.net/mandara/>

遠隔授業 ガイドブック

— 概要と注意 —

中京大学教育推進センター